

| 項目 | 説明 | |
|---------------------------------------|---|---|
| 試料・情報の利 用目的 及び 利用方法 | 研究課題名 | 非小細胞肺癌を対象とした遺伝子異常診断法の精度向上に関する研究 |
| | 研究目的 | 非小細胞肺癌の薬物治療は特定の遺伝子変異の有無によって有効な治療薬、優先される治療薬が異なります。従来は各遺伝子の異常を一つずつ調べる方法(単一遺伝子検査)などが主流でしたが、近年、次世代シーケンサに基づく遺伝子変異検索も施行されるようになり、一度に複数の遺伝子異常を同時に検索する方法も登場しました。しかし、前者は検索する遺伝子毎に検体を消費すること、後者は一定量の検体の消費で済むものの、ある程度の割合で解析自体が失敗することなどの問題点があり、どの方法が最適なのか、どんな条件の検体が最適なのかは、明らかになっていません。本研究は、すでに検査が施行された遺伝子変異検査の結果や提出された検体の因子を検討することによって、各検査の精度向上を図るとともに、最適な検査法や最適な検体の条件を明らかにすることを目的とします。 |
| | 研究対象者 | 2020年3月以前に遺伝子異常検査が施行された非小細胞肺癌患者さん |
| | 研究期間 | 西暦 2020年5月11日～西暦 2029年3月31日 |
| 利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します) | <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 | |
| 試料・情報の 管理について の責任者 | 当センター 研究責任者 | 伊藤 宏之 |
| 試料・ 情報を 利用す る者の 範囲 | 当センターでの実施診療科/部局等 | 呼吸器外科, 病理診断科, 呼吸器内科 |
| | 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者 | なし |